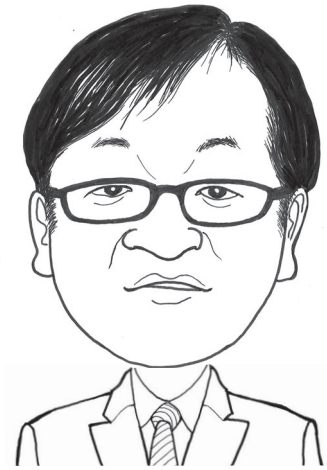


町長の公約にある道の駅の進捗状況について



鈴木 孝寿 議員

町長 社会情勢等を注視しながら、引き続き準備・研究を進める



道の駅おとふけ

問 「清水に道の駅をつくる」これは町長の公約として町民の関心が高い。清水地域及び御影地域の2箇所つくとコメントされている中で、町長の手腕に期待が高まっているが、現在の進捗について伺う。

町長 道の駅を整備したいとの気持ちは変わらないうえ、令和3年に観光協会総会において、道の駅が民業の圧迫にならないか、また、環境が整えば清水・御影の2箇所整備も考えられると述べたものの、体育館建設も建設費の見通しが不透明となり延期したが、併せて大型ハード事業は先送りしたいと考えている。社会情勢等を注視しながら引き続き準備・研究を進めていく。

まちまるごとホテルを目指す民泊事業の現状について

町長 今後も、地域経済に結びつく取り組みを目指す

問 町の魅力の発信と地域活性化に繋げる目的として本事業を実施していると思われるが、現状と今後の見通しについて伺う。また、町長の考える町の魅力とは他町村との違いを含め今後目指す方向性について伺う。

ている。(内、役場所有住宅5件・町長以下職員3件)。
今後も、主旨賛同いただく事業者を増やすとともに地域経済に結び付く取り組みを目指す。
また、清水町の魅力は優れた子育て教育環境を含め、結婚から子育て等ライフステージに合わせた切れ目のない支援、医療体制は全国トップクラスであると自負している。

問 町議会選挙が終わり、今後、統一地方選が実施される中、高齢者や障がい者により選挙に投票できるために、他町にもある自宅等へ赴き投票をより出やすい環境づくりが必要である。また、細分化されている投票所の集約も併せて考える必要もある。統一地方選挙を目前にどのように考えていくか伺う。

選挙における投票率の向上について

選挙管理委員長

地域の意向等も踏まえながら考えていく

選挙管理委員長
今後実施される市町村の状況を調査しながら、移動式の期日前投票所の設置については検討したいと考えている。
投票所の集約については、地域の理解が必要と思われるので、意向を踏まえながら考えていく必要がある。

町長 町内の民泊登録件数は12件、申請中3件となつ